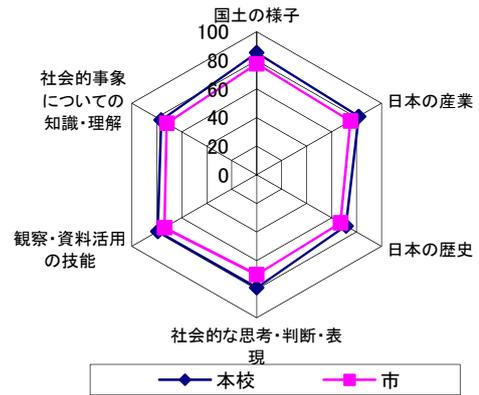


宇都宮市立海道小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	85.3	77.6	77.6
	日本の産業	81.7	75.1	67.5
	日本の歴史	71.5	67.2	62.0
観点別	社会的な思考・判断・表現	78.9	69.7	64.7
	観察・資料活用 の技能	79.2	73.8	68.5
	社会的事象についての知識・理解	76.5	72.0	67.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の正答率は、市の正答率に比べ7.7%上回った。日本の国土に関する問題では、台風の通過を表したグラフについて把握する問題以外では、全て市の正答率を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常的に地図帳を活用することで、地図帳を活用する力を育てるとともに、日本の細かな地形や位置について名称を覚えさせる。 ●資料から社会的事象を調べたり、考えたりする指導をより多く行い、思考力・判断力を育てる。
日本の産業	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の正答率は、市の正答率に比べ6.6%上回った。日本の食料生産と工業生産の両方の問題で全て、市の正答率を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常的に、日本の食料問題に関するニュースを取り上げ、考えさせるようにする。 ●日本の農業や産業についての知識の確認をし、定着を図る。
日本の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ●本校の正答率は、市の正答率に比べ4.3%上回った。歴史の問題では、安土桃山時代から江戸時代の正答率以外は全て市の正答率を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の歴史についての知識を確認し、定着を図る。 ●疑問の解決から始まり、疑問で終わるような授業を展開することで、授業の終末の疑問は、自分で調べて次時の学習に生かしていこうとする学習姿勢を身につけさせる。